

(案)

平成31年1月 日

美幌町長 土谷 耕治 様

美幌町総合計画審議会

会 長 森 暉 夫

第6期美幌町総合計画基本計画（中期）素案の答申について

平成30年12月5日付けで諮問のあった第6期美幌町総合計画基本計画(中期)素案について慎重に審議した結果、概ね妥当であると判断しますが、下記の意見を付した上で答申します。

なお、別添「参考意見」は、審議の過程において出た意見を取りまとめたものであり、施策の実施において参考としてください。

記

- 1 国内交流の推進については、前期の施策を継承し、引き続き観光と物産も兼ねた取組を推進していただきたい。
- 2 移住・定住の推進については、美幌町に移住された方のサポートも得ながら、積極的に取組んでいただきたい。
- 3 国が推進しているシェアリングエコノミーについて調査・検討し、町内に存在する遊休資産等を観光など様々な分野で利活用し、地域経済の活性化を推進していただきたい。
- 4 美幌高等学校の間口確保対策には、町内外の中学生へのPRも含めた取組みを進めていただきたい。

以上

参考意見

施策	区分	意見内容
1-1 町民との協働によるまちづくり	(3) コミュニティ活動の促進	③ 地域サポーターの活用によるコミュニティ活動支援 地域サポーター制度が機能していないため、サポーターに苦情を言って解決してもらうより、懇談会の席で解決した方が早い。その方がより実効的で効率的だということになれば、サポーター制度の必要性も含めた検討をしていただきたい。
	(10) 自衛隊美幌駐屯部隊の充実整備	① 美幌駐屯地の充実整備に向けた陳情・要望活動の推進 自衛隊は国防的な問題なので、施策は充実整備だけで良く、余分なものはいらない。美幌駐屯地の充実や存続だけで良い。
1-2 持続可能な行財政システムの確立	(1) 行政組織の活性化	② 職員の能力向上と能力、実績を重視した人事管理の推進 職員は、町の仕組みの理解や窓口対応の向上を図るために、民間研修の様に、民間のお金の動きの話等を聞く機会や、交流する機会を作り、視野を広げるようにしていただきたい。 役場は行きにくい雰囲気があり、近くまで行かないと顔も合わせてくれない。職員は、町民が行きやすい雰囲気作りに努めていただきたい。 行政運営について、町の情勢を見極めるといって体制を整備しておかないと、町は経済的にも色々な面で大変になるため、研修会等で勉強して、職員の能力向上を図っていただきたい。
		国際・国内交流は、何を求めるために交流をするのか。経済効果をどうやって上げるか等の具体策を検討していただきたい。
		職員は、町の仕組みの理解や窓口対応の向上を図るために、民間研修の様に、民間のお金の動きの話等を聞く機会や、交流する機会を作り、視野を広げるようにしていただきたい。 役場は行きにくい雰囲気があり、近くまで行かないと顔も合わせてくれない。職員は、町民が行きやすい雰囲気作りに努めていただきたい。 行政運営について、町の情勢を見極めるといって体制を整備しておかないと、町は経済的にも色々な面で大変になるため、研修会等で勉強して、職員の能力向上を図っていただきたい。
1-3 国際・国内交流の推進	全般	国際・国内交流は、何を求めるために交流をするのか。経済効果をどうやって上げるか等の具体策を検討していただきたい。
	(3) 移住・定住の推進	① 移住・定住受け入れ体制の推進 美幌町に関係を持つ町外者を増やすために、まずは道内札幌の大学のサークル向けに、美幌町の施設を合宿で使用してもらう等の提案ができないか検討していただきたい。 二地域居住については、行政が空き土地の利活用について、良い土地の情報を流すことが必要。 また、交通の利便性を踏まえて情報発信をすると非常に良く、行政も商工会議所も一緒に宣伝し、交流人口を増やせば良い。 移住体験住宅はいくらでも造れるのであって、空家対策と併せれば解決できるのではない。 また、移住体験住宅を年次的に1軒、2軒と増やしていく様な事業に取り組んでいただきたい。 「さらら」や「ぽっぽ屋」の様なところに、移住者が集まり、意見交換や情報発信、移住希望者を案内し、美幌町の情報を伝えられる窓口を、役場だけではなく官民一体で作っていただきたい。 美幌町は女満別空港を利用すれば東京から2時間で来れるため、町内にセカンドハウスの様な住居を持つことも可能。1人でも定住に繋がれば良い。 関係人口の創出には、国内交流も含まれ、学生交流、一般社会人の交流から自治体職員の交流まで生まれる可能性がある。
		緊急搬送時の事故予防として、北見市まで通っている国道39号線を早急に3車線化していただきたい。
		高齢者の介護等に関する相談先が分からない人のために、地域包括支援センターの周知を強化していただきたい。
		外国人労働者に関する国の動向も踏まえた雇用対策を考えることが必要。
		農業分野におけるデータ通信は進んでおり、農村地区の光ファイバー整備を進めていただきたい。
		農業の生産工程管理の取り組みは大事であるが、全員がGAPを取得することは不可能に近く、GAPに準じた生産工程を目指すという流れの変化を認識していただきたい。
3-1 雇用の拡大、安定	(3) 雇用、労働対策の推進	外国人労働者に関する国の動向も踏まえた雇用対策を考えることが必要。
3-2 農業の振興	(3) 新たな農業の展開	② I T ロボットの推進
	(4) 食の安全・安心対策の推進	② クリーン農業の推進

施策	区分	意見内容
3-5 商工業の振興	(1) 経営基盤の強化、経営の近代化	③ 既存企業の振興促進 観光に力を入れていく部分では、宿泊業とも密接であり、店舗リフォームの拡大版みたいな形で、宿泊業に特化した補助制度などの検討をしていただきたい。
3-6 観光の振興	(2) 既存施設や観光資源の保全、有効活用	① 既存施設等の利用促進 白樺並木は、地域の財産の一つとして、同意を求めつつ上手く活用していただきたい。
	(3) 観光情報の提供、サービスの向上	④ 宿泊施設の誘致 企業誘致は簡単なことではないが、美幌の喫緊の課題は宿泊業であり、商工会議所、役場が一体で動くことが必要。 宿泊事業者も混ぜた中で、その考えを聞いた上で行政と商工会議所によるバックアップ体制も必要。
3-7 地域特産品の振興	(2) 地域特産品のPR・販売	① 地場産品等の販路拡大 販路の拡大がこれ以上困難なことは理解できるが、イベントでの出展をすればいいのではなく、例えば札幌美幌会へPRするなど、実績が伴う方法の検討をしていただきたい。
		② 物産展・物産関連イベントの参加促進 オータムフェストの手伝いをしているが、事前のPR不足を感じるため、積極的なPR活動をしていただきたい。
		③ 地域特産品の認知度の向上 ふるさと納税の返礼品に地場産品の活用に併せてPRも拡大していただきたい。 町ぐるみで地場産品のPRに繋がる取り組みを、関係団体と連携して強化していただきたい。
4-6 住宅環境の整備	(3) 空き家対策	① 空家等に関する施策の総合的かつ計画的な実施 放置空家の増加によって、将来的に行政代執行とならないように、また土地の流動化を進めるためにも、空家の取り壊しについて経費を掛けてでも推進していただきたい。
5-1 幼稚園、学校教育の充実	(5) 高等学校教育の充実	① 間口確保や教育施設・設備の充実 美幌高校の間口確保対策では、町がバックアップしないと生徒は残らない。
5-2 生涯学習の充実	(2) 生涯学習施設の整備	その他 町民会館に、常時でなくてもしゅきつとプラザの「えくぼ」の様な喫茶の活用を検討していただきたい。
	(4) 図書館、読書活動の充実	① 図書館の増改築の検討 図書館の蔵書がかなり一杯のため、博物館の収蔵物と一緒に保管できるような建物が必要。
	(5) 博物館の充実	④ 博物館施設周辺の整備 博物館の収蔵庫は、1ヵ所に集約できる場所が良く、旧美中まで運ぶのも大変であり、博物館の近くにしていただきたい。 博物館の入り口のところに屋根の設置を検討していただきたい。野外音楽ホールにもなり、利便性が良くなる。博物館という意味に欠けるかもしれないが、そこに人が集まれば、博物館に対する認識も高くなる。
5-4 芸術、文化の振興	(1) 芸術文化活動の促進	① 芸術や文化活動団体の育成、援助 文化連盟が、若い人が活動する文化振興団体等へ、サポートする体制整備を検討していただきたい。
5-5 スポーツの振興	(1) 生涯スポーツの振興	① スポーツ振興の充実 特定のスポーツ施設（パークゴルフ場）を利用する際に、75歳以上の高齢者には割引があるが、他の施設を利用する高齢者には割引がないので、町として統一をしていただきたい。
	(2) スポーツ施設の整備、活用	③ パークゴルフ場整備の推進 施設（パークゴルフ場）の維持管理について、町民からあまり評価されていない様に見受けられるため、誰もが利用しやすい環境整備に努めていただきたい。
その他		ふるさと納税による寄附金の活用方法など、成功事例はたくさんある。先進事例となれば視察団が来て、観光だとかにも繋がる。何か仕掛けることを検討されたい。 美幌を思う人は全国にいる。その人たちとの繋がりがや地場産品の活用など、ふるさと納税の拡大は、町の取り組みによってもっとできることはある。